



令和 6 年 3 月 2 3 日
令和 5 年度学校だより NO.50②
加古川市立平庄小学校

平庄小学校閉校記念式典を行いました (NO.2)

3月23日(土)に、平庄小学校閉校記念式典を行いました。地域の皆様にたくさんお越しいただき、とても有難かったです。



児童代表として、堂々とあいさつができました。

《児童代表あいさつ》

2日前の3月21日、この体育館で平庄小学校最後の卒業式が行われました。わたしは卒業生として式に参加し、第5958号の卒業証書を授与されました。平庄小学校131年の歴史の中で、約6000人の卒業生が巣立っていきました。わたしの祖父も、父も、平庄小学校の卒業生です。私はその一員になれたことを今、誇りに思います。



わたしが平庄小学校に通った6年間、その間にも様々な変化がありました。平成が終わり、令和になりました。新型コロナウイルスの影響で、登校できない日々もありました。一人一台クロームブックが貸し出され、連絡帳や課題の提出などをオンラインで行うようになりました。運動会では、それまで高学年が取組んでいた組体操がなくなり、フラッグやダンスを中心とした表現運動に代わりました。131年の長い歴史から見ると、たったの6年かもしれませんが、これだけの変化がありました。おそらく131年のどこを切り取っても、それぞれの時代に合わせ、平庄小学校は変わってきたのだと思います。わたしにも経験がありますが、何かを変えるためにはパワーが必要です。131年の大きな流れの中で、その時々先の人たちが苦労や工夫を重ね、悩み、つながり、よりよい平庄小学校を目指して進んできたのでしょう。そして今、おそらく平庄小学校で一番大きな変化の時を迎えようとしています。

ここでわたしは、「明治の卒業生と今のわたしたちとで変わらないものはなにか」について考えてみました。父や祖父にもたずねてみました。みなさんは何だと思いますか。わたしは「平庄小学校を大切に思う思い」だと考えます。「いろいろあったけれど、やっぱり自分が通った平庄小学校は大切」という思い。きっと明治の先輩たちも、大正も、昭和も、平成の先輩たちもそう思っていらっしゃったに違いありません。

平庄小学校で一番大きな変化の時を迎えている今、閉校し西庄みらい学園へ歩んでいこうとしている今、つないでいけるとすれば、それはこの「思い」ではないでしょうか。

ここにいる会場のみなさん、平庄町のみなさん、今まで関わってくださった先生方、歴代卒業生のみなさん、みんなでこの「思い」をみらいへとつないでいきましょう。

平庄小学校、ありがとう。わたしは、平庄小学校が大好きです。



Ⅱ部 平荘っ子ミニ発表会

Ⅱ部は、児童会が司会進行をしました。子どもたちは、「平荘小学校、だ～いすき。平荘小学校、ありがとう。」の気持ちを込めて、精一杯の表現を披露しました。

3年生



4年生



1・2年生



5年生



5・6年生



校歌斉唱



子どもたちの発表の後、平荘小学校に集まっていた皆様全員で、平荘小学校の校歌を歌いました。

最後には、会場いっぱいに拍手が響きました。

閉校記念式典に集まってくださった皆様、いつも平荘小学校を温かく見守ってくださっている皆様、ありがとうございました。

そして、平荘小学校最後の閉校記念式典に向けて何日も何日も練習してきた平荘っ子のみなさん、よく頑張りました。

皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

町内会長様、閉校事業実行委員会の皆様、そして、地域の皆様、平荘小学校に関わるすべての皆様に、感謝いたします。ありがとうございました。